

パンジーセル成型苗の鉢上げ時低温貯蔵技術

【1 成果概要】

パンジーセル成型苗の鉢上げ適期苗は、貯蔵温度5～10で貯蔵期間2週間までは苗質を落とすことなく、貯蔵可能です（図1）。

低温貯蔵によるセル成型苗の抜き取りや鉢上げ作業の労働時間は、適期鉢上げ苗と同等です（図2）。

低温貯蔵による鉢上げ苗は出荷時の苗質も、適期鉢上げ苗と同等です（図3）。

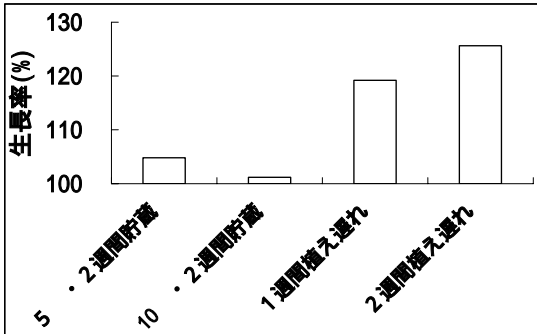


図1 低温貯蔵前後のセル苗の生長程度（草丈）

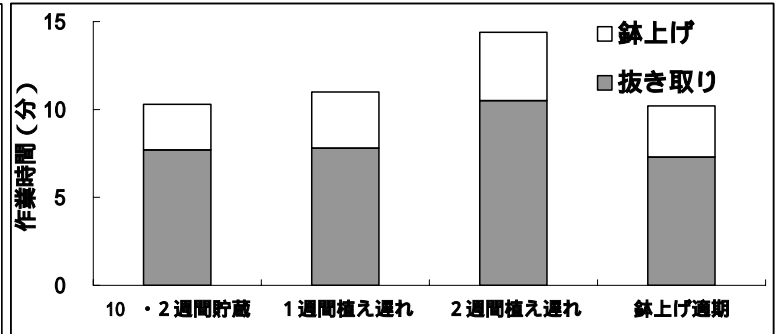


図2 低温貯蔵による作業時間

（注1）抜き取り：288穴セルトレイ230本当たり

（注2）鉢上げ：カゴトレイ（28鉢結）当たり

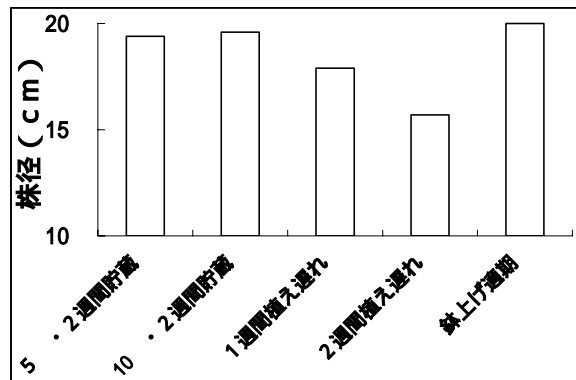


図3 低温貯蔵が出荷時の苗質に及ぼす影響

【2 効果】

- 1 セル成型苗の鉢上げの遅れによる品質低下を防止できます。
- 2 一斉鉢上げに伴う雇用労働費の低減・規模拡大・農家所得の向上が期待できます。

【3 留意事項】

- 1 本技術は一般的なプレハブ冷蔵庫で対応できます。
- 2 貯蔵中に育苗用土が乾燥しないよう、貯蔵前にかん水を十分行います。
- 3 他品種や他資材での利用については、品種の低温伸長性やセルトレイの種類等により、貯蔵温度や貯蔵日数が異なる可能性もあるので、事前に予備調査を行うことが必要です。

【4 適応対象】

県下全域の花壇苗生産者